

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

営利を目的とした民間の企業組織だけでなく、公共団体やNPOなど組織には様々なタイプがある。こういった組織の目標や理念を達成するため、組織の中で働く人々をやる気にさせ、組織全体を活性化し、業績を向上させるマネジメントについて学ぶことが目的である。そのため、まず経営学の古典的な組織理論を学ぶことで、組織において人にまつわって起こる現象を理解し、身に就いた知識を活用すべく現代における実践的なマネジメント手法を概観する。これらを踏まえたうえで、社会保険労務士事務所を開業し、労働に関するコンサルタントとしての実務経験より、企業の採用の実際や製造現場での活動の実際においてこれらがいかに活用されているかについて詳説します。

授業計画

第 1 回	イントロダクション
第 2 回	産業心理学前史
第 3 回	人間関係論
第 4 回	モチベーションの基礎
第 5 回	モチベーション応用
第 6 回	リーダーシップ基礎
第 7 回	リーダーシップ応用
第 8 回	個人の意思決定（組織的公正）
第 9 回	組織の意思決定
第 10 回	組織のかたち
第 11 回	オペレーションと安全（心理学の知見を活かした労働災害予防について）
第 12 回	組織文化とコミュニケーション
第 13 回	組織学習とナレッジマネジメント
第 14 回	キャリア論基礎
第 15 回	キャリア論応用と採用の実務についての解説
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 組織は多様な背景や性格を持つ人々で構成され、現場の第一線、マネージャー、経営者といったように多様な立場の複合体である。組織内で働く人々それぞれの「心の動き」に焦点を当て、その動きの「要因」を正しく理解し、将来において組織人として発揮できるようになることを期待する。

履修上の注意

- 半期だけの講義であるため、講義内容が濃くなることが懸念される。このため、授業の進行状況や時事的な話題の提供等により、シラバスで提示した講義について若干の変動がありうる。
- 開講開始 10 分後まで入室は、出席として取り扱う。いずれにせよ、とにかく講義に来ることが肝要。

予習・復習

- 指定するテキストの分量は少ないので一読して臨むこと。サークル活動、アルバイトといった日常生活にも組織的な活動は存在するため、常に問題意識を持ち、プロアクティブに情報を収集し、自分の考えを自分の言葉でまとめていく姿勢を期待する。

評価方法

- 出席 30%
- 理解度の確認を兼ねたミニレポートやアンケート 20%
- 期末テスト 50%

テキスト

- 教科書名：『マネジメントの心理学（第 2 版）』
- 著者名：中西 晶
- 出版社名：日科技連出版社